

越知支所管内より



今成産の自慢の人参 作ってます！

はしづめ せつ
橋詰 節さん(62)

「今成の人参は甘くてクセがない。今成の人参しか食べないワンちゃんもいるのよ」と節さん。夫と二人でニンジンや大根など露地野菜を栽培しています。

おススメは「人参スティック」「人参シリシリ」。素材の味を楽しめます。

家庭菜園では、ブロッコリーやハウレン草も作っています。「子どもや孫たちに新鮮な野菜を食べてほしいから、宅配便で送ってます」と笑顔。

パワーの源は“挑戦”する気持ち

ともくさ もとみ
友草 元見さん(93)

元見さんは60歳から山菜寿司づくりを始めました。12年続けた中で一番の思い出は、仲間と一緒に千歳空港で2泊3日間販売したこと。そば打ち体験の講師も23年勤めるなど、新しいことにどんどん挑戦しています。

戦時中、大阪から疎開で高知を訪れ、その後18歳で結婚。農業や土木など様々な仕事を経験しました。「やらずに諦めるのは歯がゆいき」と“挑戦”する気持ちが元気の源です！

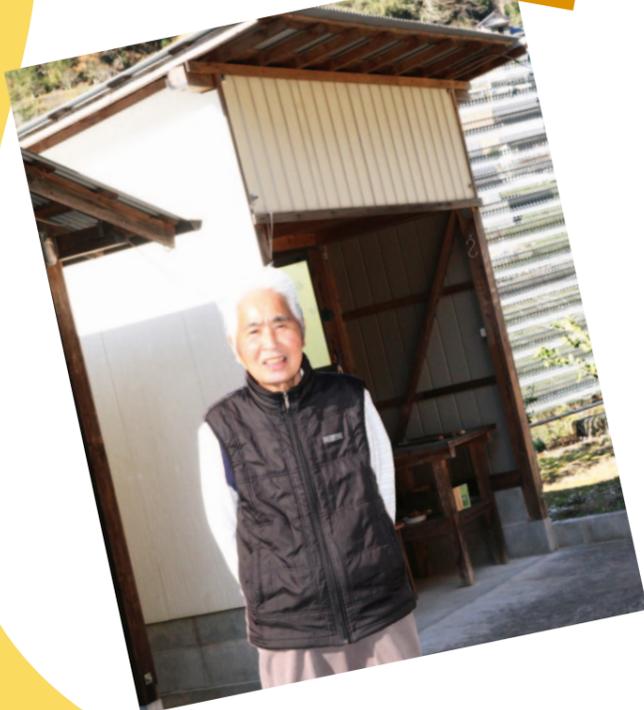
伊野支所管内より



仁淀川
地区

から こんにちには
今月の〇〇 気になる人

池川支所管内より



収穫はイノシシとの競争

なかひら ひろひこ
中平 弘彦さん(73)

父親の後を継いで、68歳から農業を始めた弘彦さん。栗を20㌦、シキビ・サカキを80㌦栽培しています。

栗は4~5種類栽培し、1シーズンに約230kgを出荷。家の近くに作った良心市ではすぐに売り切れるほど人気です！

イノシシは栗が大好き。収穫はイノシシとの競争です。弘彦さんは朝夕2回収穫して対策をしています。

趣味は日曜大工。手作りした車庫(!)は3つあり、自慢の車庫の前でパチリ！

好奇心旺盛で家族が大好き！

モカちゃん(メス・シーズー・5歳)

飼い主：横山 岩人さん
まさこ
雅子さん(妻)

横山家の“末娘”モカちゃんは5歳。いろんなことに興味津々です。

特に、町内放送が始まると、窓際に走って行きます。立ち上がって首を傾げて、放送を聞き入る姿は、大好きな家族を守るために、真剣そのもの！

家族みんなが大好きだけど、特に岩人さんの娘・朋美ちゃん(25)が帰ってくるのを、いつも首を長くして待っています。

お出かけ好きのモカちゃん。コロナが落ち着いたら、いっぱいドライブしようね！

新居支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 組織活動 笑顔で卒業 あぐりミドルスクール



卒業証書を受け取る受講生

あぐりミドルスクールは佐川町で12月17日、第15期生の卒業式を開き、受講生39人が卒業しました。受講生は、1月から土づくりや種まきの仕方、施肥管理などを学びました。2年間親子で参加した高尾光子さん佐織さんは「自宅の果樹の剪定ができるようになった。他の果樹園の樹姿に似てきて、自信が付いた」「大根や白菜など次々と大きい野菜が収穫できた。今後は自宅の畑で「んばりたい」と話しました。

3 販売 高知県茶品評会表彰式と試飲会を実施



受賞者ら（下段左から3人目が品原さん）

土佐茶振興協議会は12月5日、高知市で第56回高知県茶品評会の表彰式を開きました。同協議会は7月に2020年度の品評会を実施。最優秀賞を受賞した品原伸さん（池川茶業組合組合長）は「栽培に苦労したが、みんなで積み重ねてきたことが評価されてうれしい。さらに技術向上を目指す」と抱負を述べました。同日には「とさのさと」などで「土佐茶まつり」を開催。試飲販売を通じて来場者に土佐茶をPRしました。

6 組織活動 クリスマスリース飾りや女性部波介支部



華やかなクリスマスリースを手に笑顔の部員ら

女性部波介支部は土佐市で12月10日、クリスマスリースづくりを行いました。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、2部制、10人以下で実施しました。同支部の野瀬和子さんが講師を務め、ヒバの生葉でリース台を作り、クリスマス飾りをつけて、各々アレンジを楽しみました。参加した部員らは「久々にみんなに会えて楽しかった」「部屋に飾ると明るくなりそう」と喜びました。

4 組織活動 平和の大切さ学ぶ にこにこ会セミナー



久川さんの話を熱心に聞く会員ら

助けあい組織「にこにこ会」は12月4日、佐川町で助けあいセミナーを開きました。戦争体験語り部の久川千代子さんの講演に会員ら44人が集まりました。久川さんは1945年7月に体験した高知大空襲について話し、平和の大切さを伝えました。同会の坂本リキ子会長は「空襲の頃、私は5歳になったばかりでほとんど覚えていない。久川さんの話にはリアリティがあって、戦争はしてはいけないと思った」と話しました。



村田早稔さん、受賞おめでとうございます！

1 営農 村田早稔さん 県産業技術功労表彰おめでとうございます！

佐川支所茶生産部会長の村田早稔さんが、高知県産業技術功労者として表彰されました。高知県は11月23日、高知市で県産業技術功労表彰の知事表彰を行いました。村田さんから10人を表彰し、功績をたたえました。村田さんは佐川町で60年以上にわたって農業に精励し、地区茶生産組合の中心人物として活動。大規模な茶園の造成、茶工場の導入など、先進的な栽培や製茶技術を取り入れました。部会内で防霜ファン設置を推進した他、土着天敵昆虫の活用など、環境と健康に良い茶生産に力を注ぎました。2019年には一つのラインで4種類の茶を加工できるハイブリッド製茶ラインを完成させ、二番茶の価値を高めるなど県茶業の振興に貢献しました。村田さんは「ピンチをチャンスと捉え、坂本竜馬の精神で挑戦してきたことが認められてうれしい」と話しました。



「カサブランカ」の収穫に励む塚原さんとチャンニーさん

2 営農 カサブランカ産地を守る！ 例年通りの出荷量

土佐市の高石集出荷場で、12月下旬、「カサブランカ」などのオリエンタルユリの出荷がピークを迎えました。コロナ禍で苦境が続く中、冬場の最大産地の名にかけ、例年通りの品質と量を維持しています。一方、大輪で高価な「カサブランカ」は業務用が主で、GOTOキャンペーンの停止などによる停滞も懸念されています。土佐市高石花卉部会の塚原正樹さんはカンボジア人のパートナー・チャンニーさんと2人で収穫作業に励んでいます。塚原さんは「カサブランカ」を中心にオリエンタルユリを約50坪のハウスで栽培。例年通りの作付け面積で励みます。チャンニーさんは10月に帰国する予定でしたが、コロナ禍で出入国できなくなったため、特定技能の試験を受けて在留資格を取得し、在留を延長しました。とさし営農経済センター販売課の田所昌一さんは「ユリと言えば『カサブランカ』。今は苦しくても、踏ん張って産地を守らなければならない」と話しました。

えいのう〜



ジャガイモ

多様な品種を楽しむ

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

園芸研究家 ● 成松次郎

休眠の明けた芽は5度程度で活動が始まるため、早植えして発芽した芽は遅霜の被害を受けます。生育適温は10〜23度で、冷涼な気候を好みます。

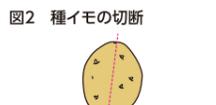
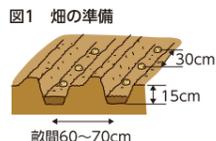
ホクホクした粉質の「男爵薯」「キタアカリ」や、アンデスの栗ジャガと呼ばれる「インカのめざめ」、ねっとりした粘質の「メークイン」「レッドムーン」など料理に向いた品種を選びましょう。秋作を行うには「デジマ」「ニシユタカ」など休眠の浅い品種を使います。

「畑の準備」
植え付け2週間前に1平方メートルあたり苦土石灰50gを施しよく耕し、1週間前に、畝間60〜70cm、深さ15cmの溝を掘り、畝1m当たり普通化成肥料100gと堆肥1kg程度を施し、土を戻してよく混ぜておきます(図1)。

「植え付け」
種イモの大きさは1個30gくらいが良く、大きいイモは各片に頂部に芽が付くように3〜4片に縦切りします(図2)。切り口は、日陰で短時間乾かしておきます。元肥の上に少し土を戻し、種イモの切り口を下にして、株間30cmに植え付け、7〜8cmの覆土をします。マルチ栽培をする時雑草を防ぎ、地温が上がるため収穫期が1週間程度早まります。この場合、種イモを植え付け後、黒色ポリフィルムを張り、芽先がフィルムを持ち上げたら、フィルムを破り上に出します。なお、発芽後の遅霜被害対策として、不織布のべた掛けがお勧めです。

「芽かき」
芽が10cmくらいに伸びた頃、強い芽を2本残して他はかき取り

「収穫」
開花後2〜3週間後新ジャガを楽しめますが、葉が枯れ始めてから掘り取れば充実したイモになります。晴天が続いた日にイモを傷付けないように掘り取ります(図5)。イモは光で緑化するため冷暗所で保存します。



ためしてみたい!! イチオシ商品
エコープ 指定医薬部外品
リキゴールド2000

Aコープ・直販店で取扱中!
(店舗によっては取り扱いがない場合もございます。ご了承ください)



リキゴールド2000は、パイナップル風味で飲みやすい栄養ドリンク! 「疲れが取れない」「風邪とかで体力を消耗している...」「もう一仕事がんばりたい」というときにオススメ! 弱った肝臓の働きを高め、全身への栄養補給を助けるタウリンを2000mg、疲労回復に優れたアスパラギン酸やビタミンB群も配合。リキゴールド2000を飲んで疲れを吹っ飛ばそう!

鳥獣被害対策専門員からのお知らせ

インシシ対策に有効な柵の設置

インシシ対策として最も有効なのは、柵の設置です。柵にもワイヤーメッシュ、電気柵、トタン、ネットの4種類があります。このうち、ワイヤーメッシュと電気柵はキチンと設置することで、被害をほとんど防ぐことができます。ワイヤーメッシュの場合、設置に少し労力がかかりますが、その後の維持管理は楽です。それに比べて電気柵は、簡単に設置ができますが、草刈り等の維持管理をしっかり行う必要があります。トタンも有効ですが、インシシに壊されてしまうことがあります。ネットは4つの中で最も脆弱で、インシシに簡単に噛み切られてしまうのでおススメはできません。

また柵以外の対策としては、インシシの嫌がる匂い物質を置く、光や音で脅かすなどがありますが、最初は効果があつてもすぐに慣れてしまいます。それだけで被害を防ぐことは難しいです。鳥獣被害対策専門員は柵の設置サポートも行っています。お気軽にご連絡ください。



鳥獣被害対策専門員 横佐古 優太

鳥獣被害についてのお問い合わせ

春野・土佐市地区

鳥獣被害対策専門員

横佐古 優太

携帯電話: 090-3189-0373

コスモス地区

鳥獣被害対策専門員

真辺 忠志

電話: 0889-2217823

(コスモス管農経済センター)



鳥獣被害対策専門員 真辺 忠志

※鳥獣被害対策はJAの地区分けとは異なりますので、ご注意ください。

ハウスのしじふの管理について



営農指導員 松田 祐徳

○整枝・摘葉

低温・日照不足による収量の落ち込みを防ぐために、ふところの混み合った側枝を整理し、光線の透過を良くして地温を高めます。

○かん水

2月は天候、土壌の湿り具合、着果状態、草勢にもよりますが、3〜4日に1回のかん水を行います。3月は日照量、気温上昇が多くなり水分の蒸散量が増えるので、2〜3日に1回を目安にかん水を行います。

○追肥

*かん水過多は根腐れによる土壌病害を誘発し、かん水不足は生育不良になりやすいので注意しましょう。
液肥で行う場合は1回に窒素成分量で0.5〜0.7kg/10a前後を7日ごと施用しましょう。置き肥施用の場合は1回に窒素成分量で2〜3kg/10aまでとし、ガスを発しないように施用量に注意しましょう。

○温度管理

加温は20〜22℃の範囲で草勢、着果状態、天候を考慮して調整しましょう。日中は26〜28℃を目標にハウス内を蒸しこまないように管理しましょう。

○病害虫防除

3月以降は日中ハウス内が高温にならないように換気に気をつけてください。
腐敗果・うどんこ病・黒枯れ病・アブラムシ類等の早期防除を行います。天敵昆虫等を放飼している場合などは使用する薬剤に注意しましょう。

○新型コロナウイルス予防について

資材の購入、出荷などで外出する際はマスクの着用をしましょう。帰宅した際は手洗い、うがいを徹底しましょう。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

宮下黎さんは、バットをクワに持ち替えて文旦とシヨウガ作り。えいいですねえ。頑張ってくださいね。私も聴診器が相棒の仕事から、鍬、鎌、軍手に持ち替えて小さな畑で野菜作りをしています。5年目になりました。小規模多品種を指しています!?今年、シヨウガ3kgを収穫し、佃煮にしました。大自然の中での小さな暮らしますが、楽しいです。

(池川支所管内・Nさん64歳)

宮下黎さん、野球から農業へ転身して、シヨウガと文旦作りに頑張っていますね。いい顔していますね。若い人が農業やってくれてのを見ると嬉しいですよ。

(新居支所管内・Nさん75歳)

「農業が楽しくてしょーがない」がよかつた。私も大好きで日々がんばっています。

(池川支所管内・Mさん84歳)

「農業が楽しくてしょーがない！」若い人が農業に打ち込んでいて、こんな記事があると元氣もらいます！頑張ってください。

(仁淀支所管内・Nさん59歳)

若手農業者がイキイキと耕作している姿が浮かんできます。がんばってほしいですね。

(土佐市支所管内・Mさん52歳)

▼宮下さんにお会いした時、イキイキ、キラキラしていました！こんなにも前向きに農業に携わってくれて、本当にうれいすね！このおたよりコーナーには、みなさんの「農業楽しい！」の気持ちをどんどん届けてほしいです。

「加工で変身！」のページをめくるとユズの香りが漂ってくるようでした。ユズは大好きで、一年中使用しています。海外まで進出していることはテレビなどで知っていますが、高知県のユズ素晴らしいですね。

(佐川支所管内・Mさん67歳)

調味料が多くなり、農家の方にいただいたユズが大活躍です。しぼって使った皮はガーゼに包んでお風呂に入れて楽しんでいます。

(伊野支所管内・Kさん60歳)

ゆずは味も香りも大好きで、ゆず商品を見かけるとつい手が伸びてしまっています。「高知県産ゆず使用」とか書かれていると余計に…。これからも、無農薬で安心安全な加工品がたくさんできると嬉しいです！

(越知支所管内・Kさん26歳)

▼みなさまのおたよりを読んでいたら、柚子利用率の高さをひしひしと感じます。みなさん日常使いの達人ですね！私がお菓子を作るとき「レモン果汁」となっているところは、「ユズ果汁(無塩)」に置き換えて作っています。

ようこそJA教室へ。子どもたちは勿論だけども大人にも分かってほしい食の大切さ。子どもが教室を終えて親御さんと話し、会話の中でお互いに食の大切さをわかってほしいよね。津野山の「茶摘み」「お茶の釜炒り」では、子どもにとつていい経験になったのでは。これからお茶を飲む時、美味しく飲めると思っていますよー！

(斗賀野支所管内・Yさん59歳)

▼産地や農家さんにとっては当たり前のことでも、携わっていない人にとっては、珍しくて興味深いことがたくさんあります。すよね！私もJAに入ってから仕事を通じて知ったことがたくさんあり、とてもよい経験をさせてもらっています！毎年イノシシ、ハクビシンなどの被害に悔しい思いをしています。対策専門員がおいでとのこと。心強いです。

(伊野支所管内・Hさん65歳)

昨年の夏からイノシシの被害に悩まされました。行政にもお願いしたいと思いませんが、こうぐりの紙面でも取り上げてくださいます。

(土佐市支所管内・Kさん74歳)

鳥獣被害対策員の横佐古優太さんが子どもの畑へ来てくれ、いろいろ教えてくれました。イノシシやハクビシンについてもやられていますので、これからも勉強させてせっかく作った野菜や果物が被害に会わないようにしたいと思っています。

(土佐市支所管内・Iさん78歳)

▼鳥獣被害対策専門員のコーナーができ、皆さまからの被害報告が届くようになりました。文旦など、昔は食べなかつた作物まで、イノシシが食べるようになったとも聞きます。動物が寄ってこないように、今できる対策などもお伝えできればと思います！

「仁淀川地区からこんにちは」で、近所のケーキ屋さんです。Reposの山崎さんはすぐく感じがよく、ケーキも大好きです。どんどん人気が出ればばい！応援します！

(斗賀野支所管内・Tさん41歳)

▼取材で訪れた時も、お話を聞く間もなく、お客様がたくさんいらしてました！景色も素敵ですし、みなさんに愛されているお店ですね！

ポンカンゼリーがとってもおいしそう。切り取って、冷蔵庫に貼りました。味はしないけど、見て満足しています。

(仁淀支所管内・Nさん59歳)

「作ってみんかえ〜」ポンカンゼリーを見て、作ってみたいになりました。実家が安芸なので、東洋町などにも道端で販売していたのを懐かしく思いました。

(土佐市支所管内・Tさん83歳)

▼こたつでヌクヌクしながら、つるんとゼリーを食べたいですね。エコーブ商品の「ゼリーの素(クール)」でも作れそうなレシピなので、お気軽に試してみてください！

土佐文旦まつり(北原ふるさと市)

日時 令和3年3月6日(土) 7時～
場所 北原ふるさと市(土佐市北地646)
内容 文旦重量あてクイズ/文旦送料100円引き/お土産あり
TEL 088-854-1811

行事中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、下記の行事について、中止とさせていただきます。
「JAカップ少年サッカー大会」(例年2月に実施)
「仁淀川地区ゴルフコンペ」(例年3月に実施)
「あぐりキッズスクールIN仁淀川地区」(例年4月～1月に実施)